

安全データシート (SDS)

1 製品及び会社情報

製品の名称

製品名 モノタロウ シリコンシーラント

会社情報

会社名 株式会社 MonotaRO
所在地 〒660-0876 兵庫県尼崎市竹谷町 2-183 リベル 3 階
担当者名 商品お問合せ窓口
電話番号 0120-443-509
FAX 番号 0120-289-888
緊急連絡先 所在地と同じ
整理番号 M160824

推奨用途及び使用上の制限

一般工業用途

2 危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性

分類できない

健康に対する有害性

急性毒性（吸入：粉じん／ミスト） 区分 4

眼に対する重篤な損傷性又は
眼刺激性 区分 2

生殖細胞変異原性 区分 2

特定標的臓器毒性（単回ばく露） 区分 2（肺）

特定標的臓器毒性（反復ばく露） 区分 1（肺、皮膚）

この混合物の約 80%は急性毒性（吸入：粉じん／ミスト）が不明である。

環境に対する有害性

分類できない

GHS ラベル要素

絵表示



注意喚起語

危険

危険有害性情報

強い眼刺激

吸入すると有害

	遺伝性疾患のおそれの疑い 肺の障害のおそれ 長期にわたる、又は反復ばく露による肺、皮膚の障害
注意書き	
[安全対策]	使用前に取扱説明書を入手すること。 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。 取扱後はよく手を洗うこと。 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。 屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。
[応急措置]	吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診断／手当てを受けること。 気分が悪い時は医師に連絡すること。 眼の刺激が続く場合：医師の診断／手当てを受けること。
[保管（貯蔵）]	施錠して保管すること。
[廃棄]	内容物／容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に依頼して廃棄すること。

他の危険有害性

情報なし

重要な徴候及び想定される非常事態の概要

強い眼刺激
吸入すると有害
遺伝性疾患のおそれの疑い
肺の障害のおそれ
長期にわたる、又は反復ばく露による肺、皮膚の障害

3 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別

混合物

組成及び成分情報

概要：
PDMS、充填剤、架橋剤の混合流体
CAS No. 企業秘密

4 応急措置

ばく露経路による応急措置

吸入した場合	気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。 症状が続く場合には、医師に連絡すること。
皮膚に付着した場合	大量の水と石けんで洗うこと。症状が続く場合には、医師に連絡すること。
眼に入った場合	水で 15～20 分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。症状が続く場合には、医師に連絡すること。
飲み込んだ場合	水で口をすすぎ、直ちに医師の診断を受けること。

予想される急性症状

軽度の眼の炎症、眠気、通常の使用で経口摂取の危険あり

遅発性症状の最も重要な徴候症状

眼の炎症、体内損傷

応急措置をする者の保護

情報なし

医師に対する特別な注意事項

症状に応じた治療を行う。

5 火災時の措置

適切な消火剤

水噴霧、粉末消火剤、泡消火剤（大規模火災）、二酸化炭素、水噴霧、粉末消火剤（小規模火災）を使用する。

使ってはならない消火剤

情報なし

特有の危険有害性

火災等の場合は、毒性の強い分解生成物（炭素酸化物、微量の不完全燃焼炭素化合物、窒素酸化物、二酸化ケイ素、ホルムアルデヒド、金属酸化物、硫黄酸化物、ヨウ素化合物、石英）が発生する可能性がある。

特有の消火方法

火元への燃焼源を断ち、消火剤を使用して消火する。
延焼の恐れのないよう水スプレーで周囲のタンク、建物等の冷却をする。
消火活動は風上から行う。
火災場所の周辺には関係者以外の立ち入りを規制する。
危険でなければ火災区域から容器を移動する。

消火を行う者の保護

消火作業の際は、適切な自給式の呼吸器用保護具、眼や皮膚を保護する防護服（耐熱性）を着用する。

6 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

関係者以外の立ち入りを禁止する。

作業者は適切な保護具（「5 火災時の措置」、「8.ばく露防止及び保護措置」の項を参照）を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。

環境に対する注意事項

周辺環境に影響がある可能性があるため、製品の環境中への流出を避ける。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

危険でなければ漏れを止める。

少量の場合、ウエス、雑巾等でよく拭き取り適切な廃棄容器に回収する。シリコン類は少量でも滑りやすくなっているので、充分洗浄する。洗浄は蒸気、溶剤、洗剤が必要な場合もある。自己発熱の可能性があるので、拭き取りに使用したウエス、雑巾等は適切な処理をする。

大量の場合、盛土等で囲って流出を防止する。

取扱いや保管場所の近傍での飲食の禁止。

すべての発火源を速やかに取除く（近傍での喫煙、火花や火炎の禁止）。

排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

「13 廃棄上の注意」、「15 適用法令」を参照すること。

7 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

「8 ばく露防止及び保護措置」に記載の措置を行い、必要に応じて送気式または自給式呼吸装置等の保護具を着用する。十分に換気する。

安全取扱注意事項

製品は水や空気中の湿気で引火性のメタノールを発生する。

熱、火花、裸火、高温のもののような着火源から遠ざけること。ー禁煙。

容器を接地すること、アースをとること。

防爆型の電気機器、換気装置、照明機器を使用すること。

火花を発生させない工具を使用すること。

静電気放電に対する予防措置を講ずること。

蒸気を吸入しない。容器は密閉する。

この製品を使用する時に、飲食又は喫煙しないこと。

汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。

接触回避

混触禁止物質

衛生対策

取扱い後はよく手を洗うこと。

保管

技術的対策

保管場所には危険・有害物を貯蔵し、又は取り扱うために必要な照明及び換気の設備を設ける。

静電気放電に対する予防措置を講ずること。

混触禁止物質	酸化剤、水、湿気
保管条件	混触禁止物質を避け密閉保管する。
容器包装材料	破損や漏れの無い密閉可能な容器を使用する。

8 ばく露防止及び保護措置

管理濃度

$E=3.0/(1.19Q+1) \text{ mg/m}^3$ (Q:当該粉じんの遊離けい酸含有率 (%))

許容濃度（ばく露限界値、生物学的指標）

ACGIH TLV	設定されていない。
日本産業衛生学会	設定されていない。

設備対策

取り扱いの場所の近くに、洗眼および身体洗浄剤のための設備を設ける。
高温下や、ミストが発生する場合は換気装置を使用する。
蒸気が発生した場合は、適切な呼吸用保護具を着用する。

保護具

呼吸用保護具	必要に応じて保護マスクや呼吸用保護具を着用する。
手の保護具	手に接触する恐れがある場合、保護手袋を着用する。
眼の保護具	保護眼鏡やゴーグルを着用する。
皮膚及び身体の保護具	必要に応じて保護衣、保護エプロン等を着用する。

9 物理的及び化学的性質

外観（物理化学的状態、形状、色など）	ペースト状
臭い	無臭
臭いの閾値	情報なし
pH	情報なし
融点・凝固点	情報なし
沸点、初留点及び沸騰範囲	情報なし
引火点	情報なし
蒸発速度	情報なし
燃焼性	情報なし
燃焼範囲の上限・下限	情報なし
蒸気圧	情報なし
蒸気密度	情報なし
比重	0.97 (25℃)
溶解度	情報なし
n-オクタノール／水分配係数	情報なし
自然発火温度	情報なし
分解温度	情報なし
粘度	情報なし

10 安定性及び反応性

反応性、化学的安定性	通常の取扱い条件下では安定である。
危険有害反応可能性	通常の実用条件下では危険有害反応を起こさない。
避けるべき条件	特になし
混触危険物質	酸化剤、水、湿気
危険有害な分解生成物	酸化剤、水、湿気と反応して、有害物質を発生することがある。

11 有害性情報

製品の有害性情報

情報なし

成分の有害性情報

成分 1

急性毒性（経口）	ラット LD ₅₀ =1,570mg/kg
急性毒性（経皮）	ウサギ LD ₅₀ =4.29g/kg
急性毒性（吸入：蒸気）	ラット LC ₅₀ ≥16ppm
急性毒性（吸入：粉じん／ミスト）	ラット LC ₅₀ =7.35mg/L/4h
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	ウサギを用いた試験にて、脱毛症、潰瘍、壊死が観察された。また、可逆的ではあるが、斑状出血、中～重度の浮腫が観察されており、重篤な皮膚への腐食性を示すと考えられた。
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	ウサギを用いた試験（OECD405）のデータを採用。非洗眼群 および洗眼群における角膜壊死の結果。
皮膚感作性	モルモットを用いた試験において、ピーナツオイルを媒体としたデータで刺激性が認められた。
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	ラットを用いた経口投与試験（OECD TG 401）における動物の死亡する用量（5.0mL/kg）で運動失調、傾眠などの症状がみられる。また、ラットを用いた吸入ばく露試験（OECD TG 403）において、立直り反射の低下、呼吸困難、自発運動の抑制、運動失調、口、鼻、眼よりの分泌物が 7.35mg/L でみられた。
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	ラットを用いたエアロゾル吸入試験で呼吸器系への刺激、炎症、化生様変化等がで発生した。

成分 2

急性毒性（経口）	ラット LD ₅₀ > 5,000 mg/kg
急性毒性（経皮）	ラット LD ₅₀ >5,000 mg/kg
急性毒性（吸入：粉じん／ミスト）	ラット LC ₅₀ =2.18 mg/L
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	ウサギを用いた試験により、軽度の刺激性と報告がある。
生殖細胞変異原性	ラットを用いた細胞遺伝学的試験（体細胞 <i>in vivo</i> 変異原性試験）における異常細胞の増加に加え、職業ばく露を受けたヒトの末梢血リンパ球で染色体異常の頻度増加が観察されたこと、および生殖細胞 <i>in vivo</i> 遺伝毒性試験の情報がない。
発がん性	IARC（1987 年）により未精製または軽度処理油 I はグル

	ープ 1、高度精製油ではグループ 3 に分類され、ACGIH（2006 年）の提案もほぼ同様の分類と言える。産衛学会（1977 年）では未精製および半精製品として第 1 群に分類されている。
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	ラットに吸入ばく露した試験により、肺に肉眼的、病理組織学的な急性変化（詳細不明）が用量依存的（1.51～5.05 mg/L）に見られた。
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	長年にわたり鉱油、あるいはそのミストのばく露を受けたヒトで肺線維症、脂肪肺炎、肺の脂肪肉芽腫が報告され、また、疫学調査において切削油への職業ばく露により重度の毛嚢炎の発生が報告されている。
吸引性呼吸器有害性	ヒトで鉱油の摂取により肺への吸引を起こし、その結果油性肺炎または化学性肺炎をもたらすとの報告。

12 環境影響情報

製品の環境影響情報

生態毒性	情報なし
残留性・分解性	情報なし
生体蓄積性	情報なし
土壤中の移動性	情報なし
オゾン層への有害性	該当しない

成分の環境影響情報

成分 1

水生環境急性有害性	魚類（ゼブラフィッシュ）96 時間 $LC_{50} \geq 934$ mg/L、甲殻類（オオミジンコ）48 時間 $EC_{50} = 331$ mg/L、藻類（セネデスムス）72 時間 $EbC_{50} = 603$ mg/L
水生環境慢性有害性	情報なし
残留性・分解性	情報なし
生体蓄積性	情報なし
土壤中の移動性	情報なし
オゾン層への有害性	該当しない

13 廃棄上の注意

残余廃棄物

廃棄においては、関連法規制ならびに地方自治体の基準に従うこと。
都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、または地方公共団体が廃棄物処理を行っている場合はそこに委託して処理する。

汚染容器及び包装

容器は洗浄してリサイクルするか、関連法規制ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。
空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14 輸送上の注意

国際規制

陸上輸送（ADR/RID の規定に従う）

国連番号	該当しない
品名	該当しない
国連分類	該当しない
副次危険性	該当しない
容器等級	該当しない

海上輸送（IMO の規定に従う）

国連番号	該当しない
品名	該当しない
国連分類	該当しない
副次危険性	該当しない
容器等級	該当しない
海洋汚染物質	該当する
IBC コード	該当しない

航空輸送（ICAO/IATA の規定に従う）

国連番号	該当しない
品名	該当しない
国連分類	該当しない
副次危険性	該当しない
容器等級	該当しない

国内規制

陸上規制情報	消防法に従う
海上規制情報	該当しない
海洋汚染物質	該当しない
航空規制情報	該当しない

緊急時応急措置指針（容器イエローカード）番号

該当しない

特別の安全対策：

輸送に際しては、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

15 適用法令

労働安全衛生法	名称等を表示すべき危険物及び有害物（鉱油）（1 重量%以上を含有する製剤その他の物）（シリカ）（0.1 重量%以上を含有する製剤その他の物） 名称等を通知すべき危険物及び有害物（鉱油、シリカ）（0.1 重量%以上を含有する製剤その他の物）
消防法	該当しない
じん肺法	法第 2 条、施行規則第 2 条別表粉じん作業（シリカ）粉

じん

16 その他の情報

本データは使用する技術データシートを満たすが、置換はされない。ここで示された本データは、最新の知識及び経験に基づく。本安全性データシートの目的は、安全性基準の観点から製品を説明することである。

本データは製品の特性を保証するものとしての意味をなさない。

ホルムアルデヒド放散量区分：（日本シーリング材工業会）ホルムアルデヒド汚染対策のための自主管理規定 JSIA-852001 F☆☆☆☆